

令和3年4月23日 市長定例記者会見 会見録

◆司会

それではただいまから、市長定例記者会見を始めさせていただきます。市長、よろしくお願い致します。

◆市長

よろしくお願い致します。ご存じの通り昨日、政府が緊急事態宣言を大阪・兵庫等に発令をしたという報道がなされました。私ども静岡市も、第4波の新規感染者の拡大に対して相当の構えを持って対応をしていきたいというふうに思っております。記者の皆さんはもちろんのこと、ライブ配信を通じてご覧になっている市民の皆さんにも、今日は新型コロナワクチン接種に向けた本市の準備状況をお話をするを通じて、ご協力をお願いをするものであります。

それでは早速、今日の本編に入ります。すでに説明させていただいておりますが、静岡市では個別接種・集団接種・巡回接種の三つの方法によって今後ワクチン接種を進めてまいります。パネルをご覧いただきながら、お聞きをいただきたいと思っております。個別接種につきましては、市内の医療機関のおよそ6割、297もの医療機関の皆さんにご協力いただけることになりました。公民連携でやっていきたいと、お礼を申し上げます。そして集団接種は、13カ所の会場をご用意致します。特徴として静岡市では、患者さんのことをよくご存じのかかりつけのお医者さんなどで接種をいただく個別接種を推奨しております。およそ8割の方が個別接種を、残りの2割の方には集団接種を受けていただくこととなります。巡回接種につきましては、中山間地域を要している静岡市ですので、個別接種や集団接種では対応の難しいオクシズ、中山間地域の市民の皆さんなどを巡回して接種を行ってまいります。1日当たりの最大接種回数は、個別接種がおよそ5,700回。集団接種は、およそ1,300回を想定しております。巡回接種を加えた三つの方法により、WHOがいうところの集団免疫の状態、目標とします。つまり、人口70万人の7割となる約49万人の接種を来年2月末までに完了をしたいという計画であります。先日の会見でもお知らせしておりますけども、高齢者の皆さんには会場にスムーズに行ってほしいという願いから、接種会場までの往復タクシーの利用で最大2千円を市が補助をする、これ、「らくタク」というふうに名付けましたけども、らくタクの施策も作りましたので、ぜひご活用いただきたいと思っております。次のスライドですが、ワクチン集団接種会場の詳細です。少し小さいですけれども、同じ物を記者の皆さんも配付されていますのでね、葵区の静岡モディ、清水区の東海大学三保研修館やイオンタウン蒲原といった民間施設にもご協力をいただいて、13カ所の会場を確保できました。次のスライドです。こちらは、年代別の接種券の発送時期と予約受付開始時期、そして想定接種期間についてです。

接種券は、ご高齢の方から順次発送させていただきます。まず 85 歳以上の方に、今月 30 日から発送を開始をします。そして来月 10 日から、ゴールデンウィークが終わった後の 5 月 10 日から予約を受け付けることに致します。その 5 月 10 日の初日、スタートの時に、コールセンターの対応を強化していきます。その日お電話が集中すれば、つながるまで多少お待ちいただくことになるかもしれませんが、対象となる 4 万 2 千人の方々に対して 6 万 7,500 人の予約枠を準備をしております。枠が足りなくなることは決してありませんので、慌てずゆっくり予約をしていただければというふうに思います。64 歳以下の市民の皆さんには、7 月下旬からの発送を予定をしております。次のスライドです。ワクチン接種のスケジュールの概要についてです。このスケジュール自体も、あくまでも国からワクチンが十分に届くことを前提にしております。ワクチンの供給状況や接種の申し込み状況によって随時スケジュールを見直していき、フレキシブルに柔軟に対応して、できるだけ早く、より多くの方に接種していただけるようにしていきたいと思います。

最後のスライドです。新型コロナワクチンのコールセンターについてのお知らせです。先月 1 日から、「0570」で始まる有料のナビダイヤルでワクチンに関するお問い合わせに対応してきましたが、今後ワクチンの接種事業・予約事業が本格化しますので、今月 27 日から「0120」で始まるフリーダイヤル、つまり無料でこの電話対応をしていくことに致しますので、ご利用いただきたいと思います。もちろんウェブでの予約もできますので、パソコン・スマホ等を操作できる市民の皆さんはこちらもご活用いただきたいと思います。ワクチンの予約からタクシーの予約まで、コールセンターからも予約サイトからも同時に可能ですので、高齢者の皆さんにもぜひご利用をしていただきたいと思います。なお、電話番号が変わるということにつきましては、市民の皆さんが混乱しないように、接種券とともに送るチラシやホームページ、LINE などで周知を図ってまいります。報道機関の記者の皆さんにも、その辺りの説明ということをご協力いただければ幸いです。よろしくお願い致します。

さて、大型連休、ゴールデンウィークを迎えます。集団免疫を獲得するまでには、まだまだ時間がかかります。市民の皆さんには、引き続き感染を防ぐ手段をそれぞれ自分事として講じていただきたいと思います。特に来週から大型連休を迎えますので、より注意をしていただくことが必要です。そこで、現在の静岡市の感染状況についてお伝えを致します。このグラフは、10 万人当たりの陽性者の数のこれまでの推移を表したものであります。一目瞭然のように、東京都や大阪府といった感染が目下急拡大している地域に比べれば、静岡市の感染状況は比較的抑えられている、落ち着いているという分析ができるかと思えます。先日、静岡まつりが開催されましたが、賛否両論あった中で開催を致しましたが、静岡まつりが起因となって感染が拡大をすることはありませんでした。まつりに参加された市民の皆さんを始め多くの方々の節度ある行動が、この結果に現れているものと胸をなで下ろしております。皆さんの協力に、改めてお礼を申し

上げます。ありがとうございました。

ただ、次のスライドをご覧ください。ご覧のように、夏休みとかお正月とか人の移動が活発になる機会をきっかけにして陽性者の数が増加する傾向も見られます。ですから、これから大型連休を迎えるに当たり、市民の皆さんにお願いです。静岡市内、県内でも変異株が確認をされております。感染拡大のリスクが高まっています。ウイルスが持ち込まれないよう、あるいは感染拡大地域への不要不急の移動は自粛をしていただくようお願いを致します。やむを得ない事情で感染拡大地域との往来がある場合は、感染が広がらないように最大限に注意していただき、慎重な行動を心掛けていただきたいと思います。感染対策のキーワードは、節度ある行動であります。節度ある行動をそれぞれ一人ひとりが心掛けていただくことが、何よりも感染予防につながります。例えば、大型連休中に市内のイベント等にお出掛けの際には、主催者が定めた感染症の対策ルールを守っていただく、あるいは、静岡市には多くの自然資源がありますので、密ではない、感染リスクの少ない、そのような観光スポット巡りであるとか、あるいは PULCLE のような自転車を使ったサイクリング、あるいは、家庭の中で静岡の地場産品を使った食事を楽しんでもらうなどなど、いろいろこのコロナ禍でも工夫した楽しい連休の過ごし方はあろうかと思えます。感染予防をしながら、楽しいお休みを過ごしていただきたいと思います。二つの Life を守ることが私たちの市是でありますので、感染拡大防止と、社会経済活動の維持、経済を回し続けていくということも必要であります。静岡の感染状況の数字を正しく知ってくださった上で、市民の皆さんの意識と行動が、大切な“いのち”と“くらし”、二つの Life を守ることにつながりますので、重ねてご協力、ご理解をお願い申し上げます。私からは以上です。

◆司会

それでは、ただいまの発表につきまして記者の皆さんからご質問をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。NHKさん、お願いします。

◆NHK

NHKです。ワクチン接種のスケジュールについて、特に集団接種会場についてなんですけれども、よく、選挙があると衆議院の解散選挙とか期日前投票とか当日投票の会場と、あるいは開票場の兼ね合い等はどうなるんだろうということを国政でも議論に上がりますけれども、少なくとも目の前に知事選挙がありますけれども、その辺りの告示日以降の期日前投票場や当日投票場の設置と、この集団接種会場、バッティングすることがないということはもう十分確認されているのか、伺えますでしょうか。

◆市長

確認されております。大丈夫です。

◆NHK

特に調整で難航するとかそういったことは、やってみると起きなかったということなんでしょうか。

◆市長

所管からお願いします。

◆保健所統括監

保健所統括監の松田と申します。知事選挙の間につきましては、葵区役所ではなくて静岡モディのほうを会場として使うということで、この後、また衆議院選とかそういう選挙が入った際には別の会場を使うというようなことを想定しております。

◆NHK

分かりました。ありがとうございます。

◆司会

その他、いかが・・・中日新聞さん、お願いします。

◆中日新聞

中日新聞の中川です。静岡まつりのさっき話もあったと思うのですが、市長もさっき多くの人の感染がなかったっていうお話で、一つのイベントの開催の例が示せたのかなとは思いますが、以前の会見でも検証が必要っていう話もあったと思うのですが、何か反省点とかそういうものは考えてらっしゃいますでしょうか。

◆市長

今、検証作業を目下目下しておりますけれども、反省点もちろんあります。まつりが終わった後、一部の市民の皆さんが宴会をしていたのをフォローできなかったとか、いろいろ我々の目の行き届かない所でもう少し何かできなかったのかとか、そんなことも報告されております。本当に行政と市民の皆さんの共同作業だと思うんですね、感染予防対策は。いずれにしても、行政、最大限できることをこの検証の中で取り上げていきたいと思っております。

◆中日新聞

今も、検証は続いているっていう認識・・・。

◆市長

課長から、お願いします。

◆まちは劇場推進課長

まちは劇場推進課長の鈴木です。まずは検証についてということですが、問題点は主に3点、静岡まつりであったと思います。マスクを外していた方が見受けられた、そして、営業時間外後にも営業をし、周辺で宴会が行われていた、それから、手筒花火の時に密状態であった。このような問題点がありましたが、検証としましては二つに大別を致しまして、何が必要かということでもあります。

一つ目については、催事内容の工夫が必要、これは、密を生じさせないための催事内容の工夫などをしていくということ。二つ目は、出店者や参加者のマナーを向上、上げるということ。これについては、呼び掛けとか出店者に対して説明会を徹底して行うというようなことでもあります。この二つを改善するために、じゃあどのようなことをするかということですが、コロナ禍におけるイベントの開催としてやるべきこと、これは、まずは企画の段階からウィズコロナを意識した計画を立てること。そして、その次に、できること、できないことをはっきりさせて判断し、その結果、プランも縮小させるなどの検討をすること。そして、現場対応で当たり前となりました、マスク・消毒・検温に加えて何をすべきかということを考えていくこと。いずれに致しましても、イベントの時期とか規模に応じてその対応というのは変わってきますので、個別に判断が必要ということでもあります。

◆中日新聞

分かりました。ありがとうございます。

◆司会

その他、いかがでしょうか。NHKさん、お願いします。

◆NHK

その流れで伺います。静岡まつりについてなんですけれども、前回伺った消毒液の空間噴霧について実行委員会から申請書が上がってきた段階で議論するということでしたが、かなりかたくなにそのようにおっしゃってましたけれども、ちょうど昨日、補助金の取り扱い要綱で「国が推奨しない方法は補助金の対象外とする」と明記されたということですが、前回あれだけおっしゃっていた見解を変えられたのでしょうか。

◆市長

変えておりません。

◆NHK

申請後に議論をスタートすると、かたくなにおっしゃってましたが。

◆市長

これからのことも考えて、目下目下、何が正しいかっていうのは記者も私も分からないと思うんですね。で、そういったときに、先ほどのまつりの件の検証もそうですけれども、これは市も県も国も一緒ですけれども、とにかくより良い感染防止対策というものを模索をしていくしかないんですね。ですから今回の検証作業として一つのルールを作って、これからは記者がご指摘の消毒液は使わないということも一つ進歩だと。で、ご指摘いただいたことは、本当にありがとうございました。

◆NHK

分かりました。ありがとうございます。

◆司会

その他、いかがでしょうか。第一テレビさん、お願いします。

◆静岡第一テレビ

静岡第一テレビです。お願いします。集団接種会場の確保ができたということなんですけれども、医師や看護師の方の確保、医療機関の皆さんの協力、人員確保については、順調に進んでるのでしょうか。教えてください。

◆市長

本当に、医師会の皆さんには協力をいただいている、経営のことを考えると、ワクチン接種というのは多少悪影響もあるかもしれないです。それを乗り越えて、しかし、公共政策としてワクチン接種事業にご協力いただいているというふうに感謝しております。会長を通じてそのことはいつも御礼をしているわけですが、もう少し詳しいフォロー、補足があれば、担当のほうから付け加えてください。

◆保健所統括監

保健所統括監の松田です。集団接種会場の医療従事者の派遣につきましては、今、市長がおっしゃった通り両医師会のご協力をいただきまして、おおよそ確保というのは十分めどが付いてるという状況でございます。あるいは総合病院のほうの協力もいただきな

がら、集団接種会場のほうの医療従事者、確実に確保していきたいと思っております。以上です。

◆司会

その他、いかがでしょうか。静岡新聞さん、お願いします。

◆静岡新聞

静岡新聞です。関連で、5月10日から85歳以上の方の予約が始まると思うのですが、コールセンターの対応を強化するということでしたけれども、例えば人員なんかは、かなり他の自治体だとなかなか電話が繋がらないということでお声もあると思うのですが、体制はどんな感じ……。

◆市長

おっしゃる通りですね。私、そこ心配しています。この前、東京都の八王子市がやられましたけれども、報道なんかを見てみるとずいぶん、むしろストレスがたまってしまって全然つながらなかったという不満がかなり大きく出てましたね。私ども、そうならないような方式として、ご指摘の通りマンパワーも拡充するように、今、指示をしております。コールセンターの電話も、初日とかは多めにする等々を、今、検討しております。それでも、なかなか通じないこともあるかもしれません。ただ、先ほど申し上げた通り、そのところは必ず枠は用意してありますので安心していただきたいなというふうに思います。

◆静岡新聞

まだ、そうすると、何人ぐらいというのはこれからということですか。

◆市長

例えば、コールセンターの電話の台数も増やそうと思ってますし、何人ぐらいということは今、目下目下の作業でしたよね、どうでしょう。

◆保健所統括監

保健所統括監の松田です。コールセンターの対応するオペレーターなんですが、現在は32名という形を想定しておりますけれど、これをさらに人数を増やせるように、今、調整をさせていただいてるところでございます。以上です。

◆市長

これは承知の通り、本当にかき入れ時とそうでないときの振幅が激しいんですね。だ

から 32 台用意して、全然パンク状態の初日なんかはプラスアルファやっていかなければいけないと思いますね。だけど 32 台用意してあるにも関わらず、まったく稼働率が悪いときもありますね。そこ難しいところですけども、その辺、先行事例を、きちっと臨機応変に対応していきたいなと思っています。なるべくつながらないことがないような、ストレスがたまらないような、そんなことを受け皿として整備するように、今、指示をしているところであります。

◆静岡新聞

あともう 1 点、すみません。電話とネットですかね、その割合というか、なかなか高齢だとインターネットも不慣れな方も多いと思うんですが、その辺はいかがでしょう。

◆市長

これは、所管のほうからお願いします。

◆保健所統括監

保健所統括監の松田です。電話とウェブの申込比率なんですけど、これ、東近江市などの実績を聞いておまして。そうしますと、電話が 1 に対してウェブが 3 というようなところを今現在想定をしております。

◆静岡新聞

ありがとうございます。

◆司会

その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。続きまして幹事社質問に移りたいと思います。テレビ静岡さん、お願い致します。

◆テレビ静岡

テレビ静岡です。幹事社質問、2 問ありますので、それぞれお答えください。1 問目は、ワクチン接種についてです。高齢者の新型コロナワクチンの、高齢者施設での優先接種が始まりましたが、一部の病院からは本人の同意の基準について行政が示してほしいとの意見がありました。このような問題について、市長はどのようにお考えでしょうか。

◆市長

まず行政、国、厚生労働省の手引きを紐解きますと、「意思疎通が難しい場合であっても、家族や介護保険施設等に入所されている方の場合は嘱託医等の協力を得ながら本人の意思確認をし、そして接種についての同意を確認できた場合には接種が可能である」

ということであります。ルールは、そういうことになっています。しかし、現実には、ご高齢の方によっては体自身を動かすのが難しい方もいらっしゃいます。声を出すことさえ難しい方もいらっしゃいます。また、認知症等の理由によりご自身の意思を周囲に明確にお伝えすることが困難な方もいらっしゃいます。さまざまな状況、これは介護度によって差があります。一概にこれが確認できれば同意と見なすということ判断するのが難しいというふうに、現場は考えております。このことは、全国共通の課題であろうかと思えます。そのため、何を以て同意を得たら良いのか。私どもも、現場のケースを国に伝える中で具体的な例を示すことができるかどうか、厚生労働省に検討をお願いをしているところであります。

◆テレビ静岡

続いて、2問目です。県知事選挙について、お聞きします。県知事選の投開票日まで、2カ月を切りました。これまでの現職への評価と次の知事に期待することを、それぞれ教えてください。

◆市長

個人として、県民として思うところはたくさんありますけれども、今日、市長という立場で会見をしておりますので、ここでそのことについて申し上げることはありません。しかし、一般論として次の知事に期待をすることですが、どなたが知事になられましても市と県の連携というのは、コロナ禍、大変、大切であります。強い連携ができる方に知事になってほしいなと願っております。以上です。

◆司会

それでは、ただいまの幹事社質問に関連するご質問をお受けをしたいと思えます。いかがでしょうか。NHKさん、お願いします。

◆NHK

NHKです。それぞれ伺います。まず、ワクチン接種の患者の同意問題なんですけれども……。

◆市長

先ほどの同意の問題ですね。

◆NHK

これは決して重箱の隅の話じゃなくて、もうワクチン接種の基本の話だったと思うんですが、これ、私が言わなかったらそのまま同意を特に本人に取らないまま接種が進んで

いたということだったと思います。前回の会見で、静岡市は静岡市で頑張ってるんだということを非常に強調されていましたが、どうしてこういったことが起きたのか、市長からご見解をお聞かせいただけますか。

◆市長

どうということですか。

◆NHK

接種の同意を当初得ないまま接種が進められようとしていたことについて、それを前提に瀬名病院で最初に打とうという計画が立てられたことについて、長谷川統括監からは謝罪のような言葉が会見で聞かれましたけれども、市長はどうしてこういったことが起きたとお考えか、お聞かせいただけますか。

◆市長

最初の混乱で、一生懸命病院のスタッフの方々も市の職員の方々も頑張っておられます。しかし、そういうことが起こってしまったというのを、市を代表する立場として私からも申し訳ないとおわびを申し上げます。

◆NHK

今のお話は、病院側も悪かったという意味ですか。

◆市長

そんなこと、申し上げておりません。

◆NHK

では、市の説明不足だったということはお認めになるのでしょうか。

◆市長

先ほど、記者、私が申し上げたと同じです。今、本当に何がより良いのか、それぞれの立場で、国だって現場を知っているわけではないですので、いろいろな方々が一生懸命連携をして、それぞれの立場で、ウイルスとの戦い、コロナとの戦いをしているわけですね。そうする場合、いろいろ試行錯誤あります。それを、何が正しいかどうかというのは、本当に分からないことがあるんですね。そのことをぜひご理解をいただいた上で、どっちが正しくてどっちが悪いかではないということ、ぜひ留めておいていただきたいということをお願いを致します。

◆NHK

伺い方を変えますと、瀬名地区でしたら、市長、政治家として地盤とって差し支えないかと思えますけれども、瀬名病院に入院されている方がどういう方かというのは、地域にとっては常識的な話だと思いますけれども、市長、瀬名病院で始めると最初に聞いた時に、皆さんが皆さん、意思表示できる方ばかりではないのではないかと、本人同意はどうなっているのかということ、どうして問題提起なさらなかったのでしょうか。

◆市長

そこまで私の思いが至らなかったということは、反省を致しております。

◆NHK

分かりました。続いて、知事選について伺いますけれども、この間、知事選について自民党さんが非常に苦勞して候補者を探されて、選挙では対立関係にもあった浜松の康友市長にまで打診が来るに至った中で、どうして自民党で支援してこられた田辺市長の名前が大きく取りざたされることがないのか、ご自身ではどうお考えでしょう。

◆市長

いやいや、私、そんな、市長ですので、とにかく今の仕事に専心をするというだけあります。

◆NHK

一つだけ私が聞いた範囲では、1人だけいたんです。田辺市長もそんなに知事とのことでうまくいかないんだったら、自分で出ればいいじゃないかということをおっしゃる方はいらしたんですけれども、そういったお考えは特になかったでしょうか。

◆市長

まったくありませんでした。私、かつて県議会任期途中で衆議院に、自民党を飛び出して立候補したことがあります。思い上がっていたなど、自分自身は反省をしているんです。無所属で2003年と2005年、2005年は小泉選挙ですね。二度、落選をしました。本当に、周りの方々にご迷惑をかけもしました。本当に悔いても悔やみきれない、そんな思いであります。その私の人生経験から、今、自分がやるべきこと、これは市長としてコロナ禍の中において市民の安全、安心を守るんだということでありますので、これを今放り出して別の選挙に移行するというのは、まったく私は想定をしておりません。

◆NHK

分かりました。

◆司会

その他、いかがでしょうか。朝日テレビさん、お願い致します。

◆朝日テレビ

朝日テレビです。すいません、ワクチン接種のスケジュールで、7割終わるのは来年の2月と。来年の2月というと、まだ半年以上先になると思います。市民の中には遅いと感じる人もあるんじゃないかと考えられますが、このスケジュールについてはどのように感じていらっしゃいますか。

◆市長

おっしゃる通りですね。市民の皆さんの反応は、さまざまだろうと思います。ただワクチンの供給量というのが、国も頑張ってくれていると思いますけれども、まだまだ分からない、私たちは、楽観的なスケジュールを立てるべきではないと思います。最初、国の基準で1月ぐらいに、3月下旬からはできるんじゃないかという国の発表を鵜呑みにしたんだけど、5月になってしまいました。そういう意味では、本当にワクチンの供給量によってスケジュールも変わってくるわけですね。ですので、私たちは今、固く、遅くともそこまでは接種を完了したいということを申し上げた。これ、全国市長会でも楽観的なスケジュールを国は示さないでほしいというふうに常々申し入れているところでありますので、その点をご理解いただきたいと思います。むしろ、やっぱり集団免疫できるためには70%の方々の接種が必要でありますので、接種したくないと、副反応が怖いという方がいらっしゃることを、私は少し懸念をしております。安全性は確認をされているワクチンの接種でありますので、ぜひ接種をしていただきたいということをお願いをしたいと思いますし、また記者の皆さんにもそのことをぜひ下支えをしていただきたいなというふうをお願いを致します。

◆司会

その他、いかがでしょうか。静岡新聞さん、お願い致します。

◆静岡新聞

すいません、知事選の話に戻って恐縮なんですけれども、先ほど、ご自身で出馬するお考えはないということでしたけれども、自民党さんのほうで参議院議員で国土交通副大臣の岩井茂樹さんを推していらして、本人も出馬に前向きで、近く表明するんじゃないかという報道もあると思うんですが、岩井さんに対してご期待することというのはありますでしょうか。

◆市長

近々出馬表明をされるという報道がされていまして、選択肢を示すということは大事ですし、無投票になってはいけないということも、その通りです。

◆静岡新聞

現職の川勝知事とはちょっと軋轢もあるかと思うんですけども、岩井さんに対して人柄とか政策とか、期待する部分はありますでしょうか。

◆市長

若いのですよね。若さの特権というのは、現状の静岡県政が80点だったら、100点があるじゃないかと。60点なら、80点があるという、「より良い県政を私は目指すんだ」という胆力を持って訴えをしていただきたいなということを期待しております。

◆静岡新聞

ありがとうございます。

◆司会

その他、幹事社関連でいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、その他のご質問があればお受けを致します。いかがでしょうか。NHKさん、お願いします。

◆NHK

たびたびすみません、NHKです。東静岡のアリーナ構想について伺います。アリーナについては民設民営でと、なるべく市のお金を使わないということをこれまでおっしゃってきたかと思うんですが、庁内の資料を拝見しますと環境整備ですか、39億5,938万9千円という額が、市のかかる全体事業費としてあげられていますけれども、こういった大きなお金がかかることを市民の理解得られるか、市長はどう説明していかれるのか。そもそもこういった数字を市から積極的に説明していないことはどうしてなのか、お聞かせいただけますか。

◆市長

民設民営というのは、建設と経営には民間の力をお借りしたいという意味です。誤解がないようにしてください。その上で、私たちのアリーナのビジョンは市として示しております。私たちが目指しているアリーナは、これまで静岡市では開催機会が少なかったプロスポーツ、国際試合、あるいはビッグアーティスト、サザンオールスターズとか、われわれ世代だとユーミンとか、そういう何千人も集めることができる、そういった方のコンサートができる器を造りたい、そういう、見る機能を重視したアリーナを目指す

ということをビジョンとして掲げております。先行している全国の民設民営で整備されたアリーナを見ると、行政がアリーナ事業に対して支援を負担しているケースも多く見受けられます。

これは予算要求資料を作成した時点のものもあり、あくまでも将来のリスクを最大限想定して一つのパターンとして出したものであり、確定しているものではありません。このため今年度、事業者へのサウンディングを引き続き継続していくとともに複数の施設の規模を想定をし、それぞれの事業費、事業予測、市の支援の必要性などをプロジェクトシミュレーションの手法を使って明らかにし、これらの結果を基に本市にとって最適なアリーナはいかにあるべきかという検討を進めていきたいと思っております。

◆NHK

この額って確定ではないにしろ、40億円という見積もり、何にこんなにお金がかかるんでしょうか。

◆市長

所管、お願いします。

◆司会

すいません、少しお待ちください。

◆NHK

市長からは、ご説明いただけることはないんですか。これは。

◆市長

私からは、総論を今申し上げた通りです。ご理解ください。

◆アセットマネジメント推進課長

アセットマネジメント推進課の山田です。よろしく申し上げます。大きなくくりですけれども、あそこの誘致をしようと考えている場所は、公社の所有している土地もあります。で、その他には土壤汚染対策や地中の埋設物、そういったものの撤去費ですね、そういったものが含まれております、想定しております。以上です。

◆NHK

それで、そういったお金をかける計画でありながらも、さらに民間事業者側からは、ほぼ全ての民間事業者から独立採算での整備・運営が困難であり、市の支援が必要であると、市の支援策の提示がないと、現状では詳細な検討はできないと否定的な意見が相次

いでいるということですがけれども、こういった声をどう受け止めて、今後さらに市の負担を増やしていくというお考えなのか・・・。

◆市長

それは、私から答えますね。昨年、サウンディング調査しました。その報告を受けています。ご指摘の通りです。ポテンシャルや採算性、市の支援の度合い等々、さまざまな意見が聞けたなというふうに思っています。アリーナの可能性については、完全な独立採算は困難という意見があった一方で、立地、需要などのポテンシャル、駅前の一等地でありますので、事業の採算性できるよと、民設民営での整備・運営を、まさに自由度高めた、あまり公的にしぼるんじゃなくて、自由度の高めたそういう経営を許してくれるんだったら採算性取れるというふうな事業者もおりました。

そのため、今年度、事業者へのサウンディングを継続するとともに複数の施設規模を想定し、先ほど申し上げた通りのプロジェクトシミュレーションの手法を使って検討を深めていきたいと思えます。

◆NHK

そういう中で 40 億円という市の事業費を、さらに業者側の要求に応じて増やしていくことは想定されるということでしょうか。

◆市長

ですからそこは民設民営の前提ですので、基礎作業ですので、ご理解をいただきたいと思えます。

◆NHK

現時点で事業者から手が挙がってない中で、市長の任期があと 2 年で、2 年後、4 期目は非常に厳しいだろうという意見が議会の中でも多数ある中で、まずそもそも民間事業者から手が挙がるのかということと、それに沿って市の事業費も含めて決めたことを次の市長も引き継がなくてはいけないのか。場合によっては次の市長が白紙撤回する可能性も考えられる中で民間事業者と計画が詰まるのか、手が本当に挙がるのか、どうお考えなんでしょうか。

◆市長

これ、公設公営でやらない限りは、やはり民間事業者の手が挙がらなければ実際はできませんね。コロナ禍の中です。経済環境、非常に厳しいです。そういう中で将来の事業性を見込んで手を挙げるということは、大変難しいことも想定されます。その辺りをやはりハードルの上げ下げをして、公民連携の事業というのが成り立っていくんだろうと

思います。

◆NHK

あと2年間のうちに、もう後戻りできない状態にまで、「ハンコをつく」というところまで持っていくお考えでしょうか。

◆市長

とにかく今年度、プロジェクトシミュレーションをしていきたいと思いますので、推移を見守っていただきたいと思います。

◆NHK

見守るといえるか、桜ヶ丘病院の移転についてもそうなんですけれども、市長の姿勢は全てを決めた後に市民にご理解くださいと説明するという、もうこの姿勢は変わらないのか。プロセスを明らかにして、市民の方がどう思いますかと意見をその都度募っていくということはもう考えない、基本的にブラックボックスでいくということなんですか。

◆市長

質問の意味を理解しかねますが、私の立場から答えに誠実に話そうと思うと、おっしゃる通り確かに私は一つのビジョン、目指すべき姿はこうだということを確認した上で、バックキャストで、「じゃあ、今それに向けて何ができるのか」というような行政手法を取るように各所管には話しております。

それはあくまでもビジョンであって、それが絶対ではありません。しかしながら、まず初めに目指すべき姿というものを確定をして、そこから逆算をして、今、何ができるのか、市民の皆さんの声に真摯に耳を傾けるという作業も大変大事だというふうに思っています。

◆NHK

お金のことも、決まってからしか市民には説明しない。ポイント・オブ・ノー・リターンを越えてからでないと公表はしないということでしょうか。

◆市長

そんなことは一言も私、申し上げておりません。

◆NHK

では、なぜ公表しないのでしょうか。

◆市長

見解の相違です。

◆司会

その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、以上で本日の市長定例記者会見を終わらせていただきます。次回は5月14日、金曜日の予定となっております。本日は、ありがとうございました。